

- 2-8 特集 デジタル化を考える
便利さは何のため
- 9 街の話題/コラム
- 10 体の元気はお口から
- 11-12 お知らせ/コラム



特集 デジタル化を考える

遠くに居る人の顔を見て話し、現金を使わずにお金を払い、撮った写真をその場で送り合う。今当たり前にある技術は、50年前には存在しなかった。この数年の間に新しいデジタル技術が次々と生まれ、私たちの暮らしを便利に変えてきた。人と会えない日々が続いたことでテレワークやオンライン授業などが普及し、デジタル化の流れはさらに加速している。

どんなに技術が進歩しても、使つのは私たち人間だ。デジタル技術をどのように取り入れ、便利さがもたらすものを何に生かすかは、一人一人違う答えがある。何のために便利さを求めるのか。デジタル化の波と向き合う市民の姿を通して考えてみた。

《2-8面に関連記事》



18 パソコン端末を使って授業を受ける子どもたち



5 オープン当時の情報プラザ



2001年、清水小学校のホームページ開設

注釈 ※1肩掛けで持ち運ぶ端末。重さは3kgほど ※2当時世界最小の携帯電話端末。約230gと大幅に小型・軽量化された ※3「Short Message Service」の略。携帯電話番号を使ったメッセージの送受信 ※4携帯電話対応のネット接続サービス ※5ネットで施設予約や催しの閲覧ができる街頭端末 ※6ネットから蔵書を検索できるシステム。当時予約はできなかった ※7パケット通信が定額で使えるサービス ※8交通機関のICカードと同じように電子決済ができる携帯電話 ※9タッチパネル式の街頭型端末 ※10施設予約・催しの閲覧、市民同士の情報交換ができるネットサービス ※11携帯電話など向けテレビ放送サービス ※12市民情報提供システム

11 マイナンバーカード申請をお手伝い



申請後の流れ

約2週間後に市役所から郵送される交付申請書を受け取り→交付通知書・本人確認書類を持ち、市民課で受け取り。

市民課 ☎225-2039

コンビニでの証明書交付などに便利なカードの発行手続き・撮影を、市職員が無料で手伝います。

【日時】 平日8時30分～17時15分
【場所】 市民課
【持ち物】 本人確認書類
【】 当日直接会場へ。



6 初めてのスマートフォン

1936年に創業した当社は、小型の複写機や、現在の②などを製造してきました。手書きだった書類の写し作業もデジタルカラー複写機や、部品の再利用による製品も2010年代からのペーパーレス化で、人々の働き方も急速にに伴いコピー機の国内大量生産が、これからはデジタル技術で決まる会社として、皆さん添っていきます。

1936年に創業した当社は、小型の複写機や、現在の②などを製造してきました。手書きだった書類の写し作業もデジタルカラー複写機や、部品の再利用による製品も2010年代からのペーパーレス化で、人々の働き方も急速にに伴いコピー機の国内大量生産が、これからはデジタル技術で決まる会社として、皆さん添っていきます。

株式会社リコー

厚木SPC 大山 裕一

総務リーダーさん(52)

1965年、世界初の原稿台固定方式。それまでは筒状の版で巻き取りながらインクを付けるのが一般的だった。

1965年、世界初の原稿台固定方式。それまでは筒状の版で巻き取りながらインクを付けるのが一般的だった。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------------------|-----------|---|---------|--|---------------|-------------------|-----------------|----------|------------------|--------------|-------------|-----------------------|--------------------|-------------------|---------------------------------------|-----------|---|---------|--|---------------|-------------------|-----------------|----------|------------------|--------------|-------------|-----------------------|--------------------|-------------------|---------------------------------------|-----------|---|---------|--|---------------|-------------------|-----------------|----------|------------------|--------------|-------------|-----------------------|
| 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 15 | 13 | 11 | 10 | 09 | 08 | 07 | 06 | 05 | 04 | 03 | 01 | 20 | 00 | 99 | 97 | 96 | 93 | 91 | 90 | 87 | 85 | 79 | 73 | 65 | 55 | 53 | 39 | 25 | 24 | 14 | 12 | 08 | 05 | | | | | |
| Atsugi Free WiFi開始 | 公民館施設予約システムリニューアル、公式ライオン開設(詳しくは6・7面へ) | IGAスクール開始 | ホームページリニューアル(6代目、市税の電子納付・手数料の電子決済開始(詳しくは7面へ)) | デジタル庁発足 | 総務省「情報通信白書」(年表など、令和元年版、平成16年版、グラフ、令和2年版) | インターネット選挙運動解禁 | 全天球画像カメラを世界で初めて発売 | マイタウクラブスマホサイト開始 | マイナンバー制度 | スマホの保有率が固定電話を超える | 「スマ報」運用開始※12 | 公式インスタグラム開設 | 本厚木駅前北口広場に電子看板「あつぎ」設置 | Atsugi Free WiFi開始 | 公民館施設予約システムリニューアル | 公民館施設予約システムリニューアル、公式ライオン開設(詳しくは6・7面へ) | IGAスクール開始 | ホームページリニューアル(6代目、市税の電子納付・手数料の電子決済開始(詳しくは7面へ)) | デジタル庁発足 | 総務省「情報通信白書」(年表など、令和元年版、平成16年版、グラフ、令和2年版) | インターネット選挙運動解禁 | 全天球画像カメラを世界で初めて発売 | マイタウクラブスマホサイト開始 | マイナンバー制度 | スマホの保有率が固定電話を超える | 「スマ報」運用開始※12 | 公式インスタグラム開設 | 本厚木駅前北口広場に電子看板「あつぎ」設置 | Atsugi Free WiFi開始 | 公民館施設予約システムリニューアル | 公民館施設予約システムリニューアル、公式ライオン開設(詳しくは6・7面へ) | IGAスクール開始 | ホームページリニューアル(6代目、市税の電子納付・手数料の電子決済開始(詳しくは7面へ)) | デジタル庁発足 | 総務省「情報通信白書」(年表など、令和元年版、平成16年版、グラフ、令和2年版) | インターネット選挙運動解禁 | 全天球画像カメラを世界で初めて発売 | マイタウクラブスマホサイト開始 | マイナンバー制度 | スマホの保有率が固定電話を超える | 「スマ報」運用開始※12 | 公式インスタグラム開設 | 本厚木駅前北口広場に電子看板「あつぎ」設置 |

2000

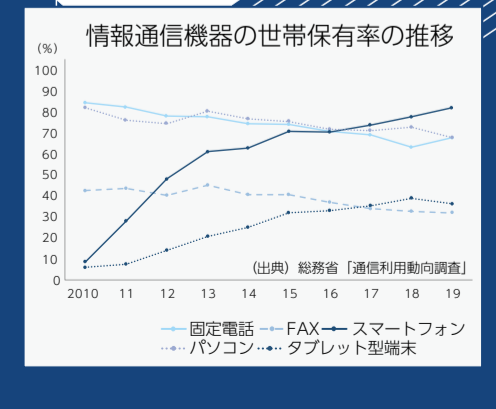
1900

06 カメラ付き携帯電話発売
加入電話と携帯電話の契約数逆転
加入電話のコンビニシステム始まる
07 iPhone 3G日本発売
08 議会インターネット中継システム稼働
09 公式YouTubeチャンネル開設
Android対応スマホ発売
10 公式ツイッター開設
11 フェンセが放送開始※11
12 ネットでの行政文書公開請求開始
13 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
14 携帯電話契約数1億突破
15 iPhone 3G日本発売
16 議会インターネット中継システム稼働
17 公式YouTubeチャンネル開設
18 Android対応スマホ発売
19 公式ツイッター開設
20 フェンセが放送開始※11
21 ネットでの行政文書公開請求開始
22 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
23 携帯電話契約数1億突破

01 図書館情報システム稼働※6
カメラ付き携帯電話発売
加入電話と携帯電話の契約数逆転
加入電話のコンビニシステム始まる
02 メールマガジンシステム稼働
バケ・ホライダイサービス開始※7
03 おサイフケータイ発売※8
04 申請書式ダウンロードサービス開始
05 マイタウンナビ稼働※9
06 マイタウンナビ稼働※10
07 市内に事務用パソコン約1700台を導入
08 事務用パソコンを電子化
09 電子申請・届出システム開始
10 図書館情報システムのネット予約開始
11 公募・募集システム稼働
12 フェンセが放送開始※11
13 ネットでの行政文書公開請求開始
14 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
15 携帯電話契約数1億突破
16 iPhone 3G日本発売
17 議会インターネット中継システム稼働
18 公式YouTubeチャンネル開設
19 Android対応スマホ発売
20 公式ツイッター開設
21 フェンセが放送開始※11
22 ネットでの行政文書公開請求開始
23 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
24 携帯電話契約数1億突破

01 図書館情報システム稼働※6
カメラ付き携帯電話発売
加入電話と携帯電話の契約数逆転
加入電話のコンビニシステム始まる
02 メールマガジンシステム稼働
バケ・ホライダイサービス開始※7
03 おサイフケータイ発売※8
04 申請書式ダウンロードサービス開始
05 マイタウンナビ稼働※9
06 マイタウンナビ稼働※10
07 市内に事務用パソコン約1700台を導入
08 事務用パソコンを電子化
09 電子申請・届出システム開始
10 図書館情報システムのネット予約開始
11 公募・募集システム稼働
12 フェンセが放送開始※11
13 ネットでの行政文書公開請求開始
14 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
15 携帯電話契約数1億突破
16 iPhone 3G日本発売
17 議会インターネット中継システム稼働
18 公式YouTubeチャンネル開設
19 Android対応スマホ発売
20 公式ツイッター開設
21 フェンセが放送開始※11
22 ネットでの行政文書公開請求開始
23 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
24 携帯電話契約数1億突破

01 図書館情報システム稼働※6
カメラ付き携帯電話発売
加入電話と携帯電話の契約数逆転
加入電話のコンビニシステム始まる
02 メールマガジンシステム稼働
バケ・ホライダイサービス開始※7
03 おサイフケータイ発売※8
04 申請書式ダウンロードサービス開始
05 マイタウンナビ稼働※9
06 マイタウンナビ稼働※10
07 市内に事務用パソコン約1700台を導入
08 事務用パソコンを電子化
09 電子申請・届出システム開始
10 図書館情報システムのネット予約開始
11 公募・募集システム稼働
12 フェンセが放送開始※11
13 ネットでの行政文書公開請求開始
14 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
15 携帯電話契約数1億突破
16 iPhone 3G日本発売
17 議会インターネット中継システム稼働
18 公式YouTubeチャンネル開設
19 Android対応スマホ発売
20 公式ツイッター開設
21 フェンセが放送開始※11
22 ネットでの行政文書公開請求開始
23 大型ディスプレイ「あつぎビジョン」設置
24 携帯電話契約数1億突破



特集 デジタル化を考える

変化をたどる

デジタル技術の発展と共に、私たちの生活も変化してきた。全国的な動向や市内企業の歩みなどと一緒に、歴史を振り返ってみたい。



1982年カード式公衆電話 1914年実用音声無線電話機

明治時代に創業した当社は、世界初の無線電話や、放送事業黎明期の放送機などの開発・製造に取り組んできました。1953年には公衆電話機の量産化に着手し、国内外に販売。公衆電話が最も使われていた80～90年代には、全国で50%のシェアがありました。2000年代に携帯電話が普及し始めると、携帯電話などの開発のために作っていた電波測定器が売り上げの中心になっていきます。13年の地デジ化では、実は当社の測定器が活躍していたんです。

1人1台以上スマホなどの端末を持つのが当たり前になった今は、大容量・超高速の通信環境が求められています。当社の製品を日常的に目にするのは少ないかもしれませんが、日々進化する通信インフラの発展に貢献できるよう、日々取り組んでいます。

コーポレートブランディング部 広報チーム 軽部 敏和さん(48)



1920～40年ごろ 善哉小学校(現・あつぎ郷土博物館付近)の授業



読み上げ機能で文字から情報を得る

タブレットを開き、人差し指を使って文章を選び、読み上げボタンを押す。通常より何倍も速い音声で、文字が読み上げられる。「初めはもつとゆつくり、人と話すくらいの速さで聞いていた。今は慣れて、もう少しで一番速い設定になる」。高梨智樹さんは幼い頃から、学習障がい（ディスレクシア）と向き合っ

きた。ディスレクシアは、視覚や聴覚に異常はないが、文字の読み書きに困難を生じる。文字・行間を狭くすると読みにくい、文字を読むと疲れる、文字がゆがんで見えるなど、症状は人によって異なる。高梨さんは日常生活で、紙の文字にはスマホのカメラを向け、ネットでは文字をカーソルで選択し、読み上げ機能を使っている。「中学生で初めてパソコンの読み上げ機能を使った。今までは映像で確認していた情報が音声で確認でき、とても楽になった」と振り返る。高校に入ると、音声教材やテストデータの電子化などデジタル技術を取り入れ、「工夫しながら授業を受けた。13歳でドローンに出会い、2



ドローンパイロット 高梨 智樹さん (22・戸室) ドローン業界の最前線で活躍中。文字の読み書きが困難な学習障がい（ディスレクシア）がある

苦手を補うために

自分や時代に 合わせて

特集 デジタル化を考える

デジタル技術の進歩は、私たちの生活に多くの選択肢を増やし続けている。動画の作成、情報収集、文字の読み上げ機能。自分の生活に合うものをそれぞれ選び使っている。デジタル技術は、生活に欠かせないものになりつつあるのかもしれない。

インターネットの利用目的 (%)

| | |
|-------|------|
| 検索・閲覧 | 95.6 |
| 電子メール | 77 |
| 地図情報 | 73.2 |
| 買い物 | 66.4 |
| 音楽・動画 | 48.9 |
| SNS | 44.8 |
| 金融取引 | 32.3 |

2019年 市民アンケート(753人が複数回答。上位7項目を掲載)

踏み出した新たな一歩



撮影は浩昭さん(左)と智樹さんと1台の機体を操る

勇ましい天狐が髪を振り乱し、たおやかな女神が川のほとりで喜びを舞う。垣澤瑞貴さんが一人三役を演じ、昨年公開された動画の一幕だ。神楽は神を祭らせ、活気づけるために生まれた伝統芸能。神と人をつなぐものとして、古くから地域の神社などで親しまれてきた。明治時代に発足し、100年以上伝統を受け継ぐ相模里神楽垣澤社中は、主に神社での祭事を中心に活動してきた。家元の娘として生まれ、物心つく前から父親の神楽を見ていた瑞貴さん。小学生の時には「出る人も見る人もお年寄りが多い。友達に声を掛けても来てくれるのは一回きり」と、現場の高齢化を感じていた。20年



市指定無形民俗文化財 相模里神楽 垣澤社中 垣澤 瑞貴さん (38・酒井) 世襲制の神楽社中。日本でも珍しい女性神楽師として活動



映像は市内の景勝地で撮影

市内の神社で神楽を演じることも

古民家で天狐を演じる瑞貴さん

本厚木駅南口の再開発事業動画公開中



高梨さんが撮影した市のPRムービーを公開しています。

動画はこちら

YouTube 本厚木駅南口がリニューアル 検索



市マルチメディアボランティア 会長 津田 尚徳さん (67・森の里) 20年以上パソコンなどの使い方を中心にボランティアで活動中

受講者に手ほどきをする津田さん(右)

マルチメディアボランティア 教えたい・教わりたい人を募集

パソコンやスマートフォンの知識を生かして活動する会員と、機器の使い方などを教わる受講者を募集しています。

●情報プラザ ☎220-2711

日時 木・土曜 10~12時

場所 情報プラザ

詳しくは 団体HPへ



「今日は、名刺の作り方の手ほどの予約が入っています」。緊急事態宣言が明けた10月、情報プラザの一室では、パソコン講座の開講を前に打ち合わせが始まった。講師を務めるマルチメディアボランティアの1人、津田尚徳さんは、20年以上にわたり活動を続けている。情報収集などの仕事が多かった。津田さんは45歳の時、設立されたばかりの団体に加入した。多くの人にインターネットの便利さを知ってほしいという思いからだ。初めての講座では、インターネットの使い方を担当。慣れない手つきでパソコンに触れる参加者に、検索キー


分からないを便利に変える

けれど、40年前には考えられなかった」と振り返る。当時パソコンは珍しく、使っている人は少なかった。重くて厚みがあり、持ち運びもできなかった。マルチメディアボランティアは、情報化が進む時代に合わせ、市民がパソコンなどの使い方を学べるよう、1999年に発足した。津田さんは45歳の時、設立されたばかりの団体に加入した。多くの人にインターネットの便利さを知ってほしいという思いからだ。初めての講座では、インターネットの使い方を担当。慣れない手つきでパソコンに触れる参加者に、検索キー


ど前には祭事が激減し、発表の場はイベントや舞台などに変化。後継者不足や資金繰りの難しさという、伝統芸能に間々ある課題を抱えるようになった。そんな中、追い打ちを掛けるように感染症が流行。イベントは次々中止され、人を集める積古も休止を余儀なくされた。以前から「生き残るには新しい発信方法を考えなければ」と危機感を募らせていた瑞貴さんは、すぐさまインターネットを使った動画配信に取り組んだ。地域の魅力も発信しようと、撮影は市内の古民家や竹林、市街地などで実施。対面での稽古ができないうえ、動画やビデオ通話を活用し、どこにいても練習できる仕組みをつくった。

相模里神楽の動画を公開中

古民家や竹林、神社などで撮影した動画を公開しています。



市HPの関連ページで見られます



文化財保護課 ☎225-2509

稽古を受けてみませんか

神事に携わりたい、舞台に出演したい、幅広いスキルを身に付けたいなど稽古を受ける理由はさまざま。一緒に神楽をやってみませんか。

内容 神楽舞、獅子舞、篠笛、太鼓など

●垣澤社中事務局 ☎229-0485

✉sagami.satokagura@gmail.com



詳しくは 団体HPへ



父と娘と収録映像を確認



LINEを使った防犯システム「みまわりわんこ」

思いが支える防犯システム

森の里4丁目自治会では2009年から、大学の協力を得て、地域の見守りにデジタル技術を取り入れてきた。10年にわたる取り組みの根底には、住民たちの強い思いがあった。

「これはテストです。近くに不審な車が止まっています。近くにスマートフォン画面に、注意を呼び掛ける言葉と地図が表示される。自治会で導入を進めている無料通信アプリLINEを使った、地域の見守りシステムだ。「感染症の影響で、なかなか実証が始められなかった。早く、住民の皆さんに広めたい」。自治会長の濱野利久さん(70)は、真つすな表情で話した。自治会での防犯システムの取り組みは、10年以上前から始まった。当時の自治会長から学校にメールで相談があったのが始まり。地域の皆さんの希望を聞き、話し合いを重ねた。自治会の活動にずっと寄り添ってきた五百蔵



地域を見守る濱野さん(左)と乙川さん

重典教授らは、最初にGPS機能を搭載した携帯電話でのメール配信システムを開発した。開発後、自治会と五百蔵教授は住民への周知に力を入れた。「どんなに良い機能も備えていても、使ってもらわなくては意味がない」。五百蔵教授は、学生を連れて地域の祭りなどにPIRを出し、携帯電話の基本的な操作やシステムの使い方を住民に手ほどきし続けた。前会長で顧問を務める乙川澄さん(70)は「地域に来てもらい話をしたり、私たちが大学に行き、住民の声を届けたりして改善を繰り返してきた」と振り返る。住民がより使いやすいよう、19年から取り組んできたのがLINE

人と地域をつなぐ

特集 デジタル化を考える



ICT活用を期待する分野は

| 分野 | (%) |
|-----------|------|
| 消防・防災 | 56.5 |
| 保健・医療 | 50 |
| 高齢者福祉 | 45.7 |
| 防犯・交通安全 | 41.5 |
| 環境・ごみ対策 | 38.3 |
| 税務(申告・納税) | 37.6 |
| 保育・子育て | 26.8 |

2019年市民アンケート(988人が複数回答。上位7項目を掲載)

下荻野にある神奈川工科大学は、地域との連携・貢献にも力を入れ、知識や技術、設備を活用し、防犯、健康、防災など幅広い分野で市民の活動を支援している。その活動を追うと、デジタル技術を生かしていくための人の思いや、つながりの大切さが見えてきた。



eスポーツを体験する奥脇さん(右)と見守る塩川教授(右奥)上田准教授(奥中央)

eスポーツでつながる

「おお、手に路面からの振動が伝わってくる。本格的で難しいけれど、車好きな人は興味を持つと思うよ。ハンドルを手に画面に向かうのは、荻野地区自治会連絡協議会会長の奥脇篤仁さん(69・上荻野)。大学の教授や学生が見守る中、ドライビングシミュレーターを体験し、顔をほころばせた。eスポーツは、複数人で対戦するビデオゲーム。五輪種目採用への検討やプロ選手の誕生など、新しいスポーツの一つとして世界的に注目されている。新型コロナウイルス感染症で他人との接触が制限される中、愛好者はさらに増えている。大学では、昨年11月に先進eスポーツ研究センターを設立。目や手の動き、脳の働きの分析による競技力向上に加え、気軽に楽しむための環境整備も目指している。



地域住民に参加を促す奥脇さん

センター長を務める塩川茂樹教授(51)は「リアルスポーツと同じで、他人と競うことが人の機能向上につながる。関心のある学生も多く、活気も生まれている」と話す。10月7日、大学の研究センターでは、eスポーツを地域交流につなげていくため、自治会長の奥脇さんを招いた意見交換会が開かれた。音響工学が専門の上田麻理准教授(40)は「感染症による外出自粛で高齢者のフレイルの危険性も高まっている。コミュニケーション手段の一つとして始めてみてはどうか」と提案。奥脇さんは「難しい」と思っている高齢者もいるが、課題をうまく活用できれば、高齢者同士だけでなく、若い人たちとの交流が広がる可能性がある」と期待を込めた。



システムを手掛けた五百蔵教授

大学と自治会は今後、少人数での意見交換や公民館での体験会などを企画していく。健康増進や交流機会の拡大など、多くの可能性を秘めたeスポーツ。地域に合った取り入れ方を見いだすための動きが始まっている。

LINE 市公式LINE アカウント

感染症、防災などの配信に加え、ごみの出し方やイベント検索機能もあります。

【登録方法】 スマートフォンなどにLINEのアプリをインストールし、アカウント名「厚木市」またはID「@atsugi_city」で検索し、友だち登録

☎情報政策課 ☎225-2459

電子決済スタート

現金のやり取りがない電子決済は、感染防止の観点からも需要が高まっています。市では、次の内容で使えます。

市税などが自宅で

手数料の窓口払いも

納付書のバーコードを読み込み、「LINE Pay」「PayPay」アプリで払えます。

専用レジ端末がある窓口で、クレジットカード、電子マネー、コード決済ができます。

【支払えるもの】 市県民税、固定資産税、軽自動車税(種別割)、国民健康・介護・後期高齢者医療保険料

【支払える発行手数料】 戸籍謄本・抄本、住民票の写し、納付証明書など

【対象窓口】 本庁舎、第二庁舎、公民館、駅連絡所など34カ所

☎収納課 ☎225-2020 ☎財政課 ☎225-2170

神奈川工科大学 地域連携・貢献センター

気軽に相談を

防犯、防災、福祉、健康など、地域の皆さんとの協働に向けた相談を受け付けています。

1 相談

電話、Eメールなど

2 企画

課題を確認し解決方法を企画

3 実践

地域などで企画を実践

4 振り返り

結果を踏まえ改善点を検証

詳しくは **KAIT** 検索

☎地域連携・貢献センター ☎291-3153

センター長 小川 喜道さん(73)

地域と手を携えていきたい

このセンターは、地域と大学をつなぐため昨年4月に設立しました。地域の課題解決に、大学の知識・人材・技術などを生かしていきたいと考えています。どうぞ気軽に相談してください。

☎国保年金課 ☎225-2125

特定・長寿健診 医療機関検索が簡単に

健診を受けやすくするため、無料通信アプリ「LINE」で、特定・長寿健診を実施する医療機関が探せます。

- その他の機能
 - ・受診方法の確認
 - ・受診券の再発行依頼
 - ・健診や人間ドックの検査項目確認

☎国保年金課 ☎225-2125

緊急事態宣言が明けた10月5日の昼下がり、あつぎ市民交流プラザの一室では、高齢者を対象にした市主催の健康講座が開かれていた。「フレイルは、足の筋力が衰えるとなりやすい。家にもならず、今日参加されている皆さんのように、外に出て活動することが大切です。参加者たちは、うなずいたり、メモを取ったりしながら、講師を務める高橋勝美教授(60)の話に耳を傾けていた。

高橋教授の専門は、人の運動機能。デジタル機器で、高齢者の筋力や認知機能などを測定し、データを集約。測定者の健康づくりのきっかけや、地域で見守るための仕組みづくりに生かしている。大学近くの荻野地区

では、高齢者10人に腕時計状の機器を着けてもらい、運動量のデータを測定し、地域包括支援センターなどで活用するための試行を始めている。データから活動状況などを分析し、普段と異なる状況が見られる場合は直接会って健康状態を確認するなど、本当に必要な人のところに人の力を注ぐための試みだ。

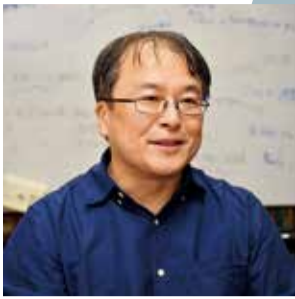
高橋教授には、「一貫した思いがある。最終的には、人が行動に移さないと何も変わらない。データやデジタル機器は、そのきっかけをつくるもの。測定結果を見て日常生活を変える。講座などに出掛け、人と言葉を交わす。データを生かして人が動き、強く関わり合える仕組み作りに向けた日々が続いている。

データは人が動くきっかけ

福祉や健康づくりの現場でも、デジタル技術は幅広く取り入れられている。しかし、取材で見えてきたのは、何にも置き換えられない人の動きと関わりだった。

測定装置の活用方法を語る高橋教授

何をデジタル化し、どこに人の力をかけるか



神奈川工科大学
情報工学科 教授
五百歳 重典さん (51)

デジタル化は幅広い分野で進み、社会にとって欠かせないものです。新型コロナウイルス感染症により、大学の講義はオンラインで実施せざるを得ない状況になり、小・中学校では、児童・生徒に1台ずつ情報端末を持たせるGIGAスクール構想も進んでいます。デジタル化には、業務の効率化など良い面が多くあります。しかし、開発にはコストもかかりますし、業務を100%デジタル化することはできません。全てをデジタル化すること

は、仕事自体を減らすことにもなり、雇用の問題などにも関わってきます。教育の分野に関しては、人と人をつなぐためにデジタル技術が使われるべきだと私は考えています。オンラインで人をつなげ、今まで目が行き届かなかった部分をより良くするような使い方が望ましいのではないのでしょうか。地域活動でも、課題や目的をはっきりさせた上で、デジタル技術などを取り入れることが必要です。

デジタル化する部分や割合は、仕事や活動内容によって異なるでしょう。何をデジタル化し、どこを人の力でやるか、しっかりと考え、選んでいくことが大切だと思います。



デジタル技術は人のために作られ、便利になることで生まれた時間は、人の生活を豊かにする。絶えず移り変わる時代だからこそ、自分にとって変わらない大切なものを見つけたい。

特集
デジタル化を
考える

人が豊かであるために

生活を楽しく便利にするスマホ



書道家 井上 好枝さん (76・愛名)

書道仲間と動画や写真を送り合うため、5年前にスマートフォンを購入しました。初めは苦戦しましたが、遠隔で使い方を教えてくれるサービスで勉強。今ではインターネットで買い物したり、友人や家族とLINEのグループを作ったりと、生活になくはない存在です。北海道や四国に住む書道関係の仲間とオンラインでお茶会を開いた時は、久しぶりに話ができて、普段見られない一面が垣間見えてとても楽しめました。

手彫りの印章に思いを込めて

印章彫刻士
小宮 嘉一郎さん (85・旭町)



15歳の頃にこの道に入り、手彫りの印章を作り続けています。印章は自分自身や会社の証しとして、唯一無二の手彫りが当たり前でした。時代の流れとともに、印章の価値は大きく変わりました。安価な機械彫りも増え、仕事は減っています。でも、私は手彫りしかできないし、この仕事への誇りもあります。今は、子どもや孫などへの贈り物として選んでくれる人もいます。これからも心を込めて、世界に一つだけの品を作り続けていきます。

オンライン授業で校外活動が充実

東京工芸大学2年 岩淵 広虎さん (20)



入学してからずっとオンライン授業です。去年の冬から週1回だけ実験のために学校に行けるようになり、友達と授業の課題などを共有できて気持ちが楽になりました。

通学の時間がなくなったので、0歳から続けている水泳の朝練に毎日通えるようになりました。進学で諦めなければいけないと思っていた水泳にここまで打ち込めたのは、本当にうれしいです。他にもアルバイトや地元の成人式の実行委員、学童保育のボランティアなどに取り組んでいるのは、時間に余裕ができたおかげだと思っています。

テレワークでより働きやすい職場に

大久保歯車工業(株) 近藤 さちさん (23)



重機などの歯車を製造する会社で生産管理の仕事をしています。今年1月からテレワークを始め、今は週に2日は自宅で仕事をしています。慣れないことも多かったですが、1日3回オンラインでの打ち合わせがあるので、分からないことも気軽に相談できました。まだ新しい制度ですが、社員へのアンケートから改善策や手当を考えてくれるので、安心して取り組んでいます。通勤時間がなくなり生活に余裕が生まれたことで、最近料理に興味を湧きました。今は母と一緒に料理をする時間が楽しいです。

コロナ禍でも親同士の交流の場を

ままカフェあつぎ子ども食堂代表
山田 啓子さん (43・愛甲)



子育て世帯の交流の場を作ろうと、子ども食堂を運営しています。コロナ禍で子育て中の親の相談・交流の場所が無くなり、孤立化していることに問題を感じ、今年2月と8月にオンライン子ども食堂を企画しました。参加者は賛同した飲食店で専用のお弁当を購入し、オンライン通話をしながら食べます。初めての試みで不安もありましたが、30組ほどの参加があり、「子どもと一緒に自分も楽しんだ」「久しぶりに話ができた」と言ってもらえて、オンラインでもつながりはつくれるんだと気付きました。時代に合わせた親の居場所づくりを、これからも続けていきたいです。

大切にしたい紙の温もり

(有)浅間山印刷 山田 勝さん (85・温水)



市内で50年印刷会社を営んでいます。40年程前は、印刷業界では活版印刷が主流でした。辞書のように並んだ活字を一字ずつ選んで版を組み、インクを付けて刷ります。当時は家庭用プリンターなど無かったので、名刺や年賀状など、個人からの依頼も多くありました。30年前にオフセット印刷の機械を導入し並行して使っていましたが、活版印刷には多くの職人が必要で、今はオフセットのみ使用しています。世の中が変わって、何もかも電子でというのは少し悲しいです。紙には紙の温かみがあり、紙の良さはこれからも無くならないものだと思います。

感染症に負けない！地元の心を一つに

手作りのハロウィンイベント開催



重たいカボチャを運ぶ委員会のメンバーたち

睦合南公民館で10月、ハロウィンイベントに向けた準備が進められました。イベントは、活気ある地域づくりに取り組みコミュニティづくり推進委員会が企画し、今年で2回目。公民館の入り口にジャンボカボチャや手作りの壁飾りなどをあしらったショーウィンドーを設置し、イベントの雰囲気を盛り上げました。

委員長の石井勝巳さん(82・妻田東)は「昨年も好評だったイベント。幅広い年代の皆さんに楽しんでほしい」と話し、準備に力を入れました。仮装コンテストに参加した団体が会場で撮影した写真は、公民館内や公民館のフェイスブックに掲載。11月30日まで公民館などで人気投票を受け付けています。

子どもたちを見守った6年間

曾田高治前教育長が退任

2015年から教育長を務めた曾田高治氏が、任期満了のため9月末に退任しました。曾田氏は、1981年に依知中学の教諭となり、依知・藤塚中の校長や学校教育部長などを経て、教育長に就任。在任中は、小・中学生1人1台の情報端末を導入し学びを深めるGIGAスクール構想や、保護者と地域住民が学校運営に携わるコミュニティ・スクールの推進など、教育行政に取り組みました。



職員に見送られる曾田氏(左)

曾田氏は6年間の振り返り「子どもたちのために何ができるかを考えながら教育長として取り組んできた。立場は変わるが、これからも市の子どもたちを見守りたい」と話し、市役所を後にしました。

10月からは、前睦合東中学校長の佐後佳親氏が新教育長に就任しています。



落語の魅力に触れる

真打ち・柳家三郎さんの特別展示を開催

落語家の最高位である真打ちに昇進した、市内出身・柳家三郎さんの展示会を、あつぎ市民交流プラザで開催しています。会場には、三郎さんの紹介をはじめ、記念の扇子や手拭い、直筆のサイン、公演した落語の題名が記された冊子などを展示。普段見られない品に、来場者は足を止めて見入っていました。展示会は11月15日まで実施しています。

展示を見た高島朋子さん(56・水引)は「色紙に描く絵やサインなども上手で落語家は多彩な方が多いと感じる。厚木出身の落語家が増え、落語を通して厚木をより知ってもらえたら市民としてうれしい」と話しました。



昇進披露舞台上で読まれた師匠からの手紙も公開

秋の花を楽しんで

市内団体がザルギクを贈呈

みどりと清流のふるさと創造委員会が、10月に開花したザルギクを市に贈りました。ザルギクは、あつぎ飯山花の里で育てられたもの。現地の秋の花まつりは中止となったものの、自由に花を見学でき、11月3日まで先着順で販売もしています。



「現地では6色の花が楽しめる」と話す小島さん(左から2人目)

委員長の小島富司さんは「みんなで汗を流して育てた花が見頃を迎えた。コロナ禍ではあるが、多くの皆さんに楽しんでいただきたい」と花に込めた思いを語りました。小林市長は「手を掛けて育てられた花を届けてくださり、ありがとうございます。秋を感じられて気持ちが良い」と感謝を述べました。



第1回 みんなで! SDGs

持続可能な社会を目指す世界共通の目標「SDGs」。その達成のために17の目標を知り、できるところから実践しませんか。

目標13 気候変動に具体的な対策を
地球温暖化が進むと、集中豪雨や台風が増えて農作物が不作になったり、海面が上昇したりと環境に深刻な影響を与えます。原因となる二酸化炭素を減らしましょう。



できる取り組みは?

節電

小まめな電源のオフやエアコンの適正な温度設定などに取り組みましょう。節電は、家計の手助けにもなります。

再利用できる製品を使用

買い物時は、マイバッグを持って行きましょう。製品の再利用は、資源の過剰消費や二酸化炭素排出量の削減につながります。

地元で買い物、食材は地元産を選ぶ

地産地消は、すぐに新鮮な商品が手元に届くだけでなく、輸送時の排出ガスや電力などを削減する効果もあります。

企画政策課 ☎225-2450



落款は、贈られた手作りの物を愛用

今回の特集のテーマはデジタル化。1990年代から情報通信に関する施策を進めている市では、押印廃止や電子決済などにいち早く取り組んできました。私自身も8年前からスマートフォンを使い、SNSや地図アプリなどを日常的に活用しています。

一方、私は書道をたしなんでおり、毎年、市政運営のテーマを書いたためです。まっさらな気持ちで白い紙に向き合う時間は、初心に返

は、コロナ禍でフリートークを実施していませんが、安全を確保し、順次地域に伺っています。

テクノロジーは、人のためになるものです。行政の仕事の中にはデジタル化できるものできないものがあり、どちらも人が中心でなければなりません。社会が変わっても、変わらず大切なのは「人」。その信念を大切に、市政運営に取り組んでいきたいと思っています。

る大切な瞬間です。完成した書には、落款も欠かせません。そして、私の信念でもある「現地対話主義」。市民の皆さまの思いを、顔を見て直接聞くことで、音声や映像だけでは読み取れない気持ちの動きをつかめると感じています。今年度は

Zoom Up

11月8日は「いい歯の日」

体の元氣はお口から

口には、食べる・話すという重要な役割だけでなく、細菌やウイルスから体を守る免疫機能も持っています。感染症から身を守り、強い体を保つためには、日頃の口腔ケアが欠かせません。いつまでもおいしく食べ、楽しく会話し、自分らしく暮らせるよう、口の中の健康を見直してみませんか。

口の中の健康は、体の健康と密接な関わりがあります。歯磨きで取りきれなかった食べかすは細菌の温床となり、虫歯や歯周病を引き起こします。さらに口の中で増えた細菌は、病原菌やウイルスを体内に入りやすくする、気管から肺に入って誤嚥性肺炎の原因となる、薬の効果を弱めるなど、さまざまな問題を引き起こします。

口の健康は体に直結

「口腔内の状態が悪くなると柔らか

い物しか食べられなくなったり、うまく話せなくなったりと、生活全体に悪影響が出る」と話すのは、厚木歯科医師会事務局長の石塚修さん(64・三田)。

特に歯を失うと柔らかい食べ物を選びがちになるため、健康的な生活の基礎となる食事のバランスが崩れ、体の健康を損なうきっかけにもなり得ます。

加えて、話す力が低下すると、コミュニケーションを取ることもおっくうに。石塚さんは「高齢になると、口の健康悪化をきっかけに社会とのつながりが薄くなり、体と心も急速に衰える

場合がある」と警鐘を鳴らします。

定期的な歯科健診を

口を健康に保つには、毎日の正しい歯磨きと定期健診が欠かせません。初期の虫歯や歯周病の多くは自覚症状がないため、専門家に診てもらい、早期発見・治療へつなげるのが大切です。

11月8日はいい歯の日。いつまでも自分の歯で健やかに暮らすために、歯や口のケアを見直してみませんか。

健康づくり課 ☎225-2201



子どもの時から正しい歯磨き習慣を



コロナ禍でも定期健診を

厚木歯科医師会
秋山 眞一 歯科医師 (55・寿町)

歯磨きで取り除けなかった細菌の塊は虫歯や歯周病を引き起こすだけでなく、時間がたつと歯石になります。歯石は自力で取れない上に、さらなる細菌の繁殖につながるため、歯科医院で可能な限り早く取り除かなければなりません。口腔内の状態が悪くなると、感染症にもかかりやすくなります。

2020年はコロナ禍で外出を自粛したためか、受診率が約1%下が4.3%になりました。歯科医院はもともと感染対策を徹底しているので、ためらわず半年に1度は健診を受けましょう。

定期的に同じ歯科医院を受診した方がささいな変化にも気付きやすいため、口腔内の健康を気軽に相談できる「かかりつけ歯科医」を持つことをお勧めします。

正しい歯磨きや口腔ケアは [厚木市 いい歯の日](#) [検索](#)

1回目の予約は11月9日まで
希望の方はお早めに

ワクチン接種のお知らせ

希望する未接種の方は予約をお願いします。接種券が届かない場合や市に転入した方は、コールセンターへ連絡してください。

《接種期間》11月30日まで 10～18時

《場所》イオン厚木店 6階

《予約方法》

【インターネット】①市HPまたは右の二次元コードから予約サイトへアクセス②接種券を見ながら、接種券番号(10桁)と接種する人の生年月日を入力。画面の案内に沿って日時を選び、氏名、電話番号などを入力して予約完了

【電話】コールセンターで予約(※予約専用ダイヤルは10月31日で終了)。

☎0570-054-666
(全日 8時30分～17時15分)

☎市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
☎0570-054-666



かかりつけ歯科医のチェックを 歯科健診を受けよう

対象者には受診票・券を送付しています。忘れずに予約をお願いします。

■成人(口腔がん検診と同時受診可)

《対象》市内在住の40歳以上
《期間》2022年2月15日まで
《費用》1000円(口腔がん検診は1600円、歯科健診と同時受診の場合は1200円)。70歳以上または費用免除証明証を持つ方は無料
☎健康づくり課 ☎225-2201

◆2歳6カ月児

《対象》市内在住の2歳6カ月～3歳の誕生日の前日
《費用》無料
《持ち物》母子健康手帳、健康保険証、バーコードシール、健康診査票、歯ブラシ、タオル

◆妊婦(妊娠中1回限り)

《対象》市内在住の妊婦
《費用》1000円
《持ち物》受診票、母子健康手帳、健康保険証
☎健康づくり課 ☎225-2597

いずれも☎市HPまたは受診票同封の案内に掲載の医療機関へ。

■後期高齢者

《対象》1945年4月2日～46年4月1日生まれで後期高齢者医療制度に加入している方
《期間》22年1月31日まで(期間中1回限り)
《費用》無料
《持ち物》受診券、被保険者証
☎広域連合HPまたは受診券同封の案内に掲載の医療機関へ。
☎県後期高齢者医療広域連合 ☎045-440-6700

歯と歯ぐきの健康相談

歯科衛生士が歯磨きや口の悩みに答えます。参加者には歯間ブラシとデンタルフロスをプレゼント。

《日時》11月26日 9時30分～11時30分
《場所》保健福祉センター
《費用》無料

☎当日直接会場へ。
☎健康づくり課 ☎225-2201

タウンガイド

11月

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

12月

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ☎=Eメール HP=ホームページ
 ☎=講座予約システム(☎印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「☎」と記されたものは、申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「秋桜と蜂」

#10月11日撮影
 #荻野運動公園
 #秋の花
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中



新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)

感染の不安のある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など

☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

斎場施設見学会

11月21日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☎11月1～20日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

文化財一般公開

12月11日①10時30分～②13時30分～③12日、13時30分～(各回60分)。本禅寺本堂。県指定重要文化財の保存修理現場を講師の解説付きで公開。階段の上り下りができる方各回10人。200円。☎11月15日までに文化財保護課☎225-2509へ。抽選。☎2144004

子どもたちと楽しく働こう・保育のしごとオンライン就職フェア

11月27日、13～16時。市内で働く保育士が各園の特色を紹介しな

がら就職のアドバイスを。市内の保育施設に就職を希望しビデオ会議ツール「Zoom」が使える方。無料。☎11月15日までに市HPから申し込み。☎保育課☎225-2768へ。

救急救命講習会

■ 応急手当普通救命講習会

12月4日、9時～。応急手当の重要性や心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上15人。☎☎2041039

■ 小児・乳児への応急手当普通救命講習会

12月9日、13時30分～。応急手当の重要性や小児・乳児の心肺蘇生法、AEDの取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上10人。☎☎2041040

◆ 応急手当普及員再講習会



第1弾 梶学芸員



第2弾 大野学芸員

あつぎ郷土博物館に行こう!

学芸員紹介ムービー

県が主催する「公共建築グランプリ!」に合わせ、博物館の学芸員を紹介する映像を配信します。クイズにもチャレンジ!

☎広報課☎225-2040

公共建築グランプリ!とは…

「コロナが明けたらぜひ来てほしい我が街の建物」がテーマのグランプリ。県内の建物に投票(11月1～30日)すると抽選で記念品が当たります。

動画、投票はこちらから!



ホット インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

10月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆市出身者から東京五輪金メダリストが出たことは誇り/40代男性 ◆産後は未知なことが多いので切れ目ない支援はありがたい/30代女性 ◆電子で図書館を利用できるのは便利/70代以上女性 ◆家庭でのごみ減量の重要性を再認識できた/60代男性 ◆若い人が動くのは何よりの力。新しい感覚を取り入れ、古き良き物を残せたらいいと思う/50代女性 ◆北海道の流水に興味を引かれたので見に行きたい/30代女性

募集 放課後児童クラブ入所児童



市内23小学校区にある放課後児童クラブで2022年度の入所児童を募集します。

☎こども育成課☎225-2582

《対象》①各学区内の小学生②保護者全員が就労(15時以降まで勤務)や疾病などで放課後に適切な保育ができない③保護者などが19時まで迎えに来られる一の全てを満たす児童

《時間》平日(学校休業日を除く)=放課後～19時
 土曜、長期休業日など=7時30分～19時
 ※日曜、祝日、夏休み中の学校閉庁日、年末年始は休所

《費用》育成料=月額4000円(18時まで)、4800円(19時まで)
 クラブ費=月額3500円(おやつ代、教材費他)

☎こども育成課や児童クラブ、市HPなどにある申請書に必要書類を添え、郵送で11月22日～12月3日(消印有効)までに〒243-8511こども育成課☎225-2582へ。

12月18日、9時～。応急手当普及員の有効期限更新や技能の維持・向上のための講習。市内在住在勤在学の応急手当普及員で有効期限以内の方15人。☎☎2041041

いずれも会場は消防本部。各回180分。無料。☎11月1～9日◆15～25日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。

久保奨学金の奨学生を募集

高校などへの入学費用を支援する入学準備奨学金と、修学費用を支援する高校等修学奨学金の希望者を募集します。

《対象》①修学への意欲がある②経済的な理由で修学が困難③学業成績が優秀一の全てを満たす市内在住の中学3年生(2022年4月に高校などへ入学予定)20人。☎市立中学校で配られるチラシを確認し、11月22日までに担任の先生へ相談。市立中学校以外の方は教育総務課☎225-2600へ。選考あり。

生産緑地地区変更に伴う都市計画変更案の縦覧と意見書受け付け

《閲覧期間》11月8～22日(土・日曜を除く)《縦覧場所》都市計画課《意見書提出》直接または郵送で、11月22日(必着)までに〒243-8511都市計画課☎225-2401へ。

新たな農業委員の就任

市川和典委員、野口政夫委員の辞任に伴い、内海則行委員、大矢和人委員を新たに任命しました。

《任期》10月5日～2022年10月16日。☎農業政策課☎225-2800。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、10月16日付けで、森厚子氏(62)が教育委員会委員に再任しました。☎教育総務課☎225-2600。

給与支払報告書などの配布

11月15日から給与支払報告書の総括表や個人別明細書などを配布します。

《配布場所》市民税課《対象》事業所や事業主の方。☎市民税課☎225-2011。

もみじの写真展

市内の公園や緑地などで撮影された、もみじや紅葉した植物などの写真を募集します。応募者の中から抽選で花と緑のギフト券を5人にプレゼント。

☎11月1日～12月15日にカメラやスマートフォンで撮影した写真をEメールで公園緑地課☎225-2410・☎4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

みんなの声で 作る まち

《パブリックコメント》

■ 都市計画生産緑地地区の指定基準の制定

《閲覧期間》11月1日～12月1日《閲覧場所》都市計画課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。☎都市計画課☎225-2401。

編集後記

原稿作成のため、20年ほどさかのぼって写真を探しました。日付や場所など手書きでメモされた大量のフィルムをひっくり返すのは、かなり大変な作業。デジタルカメラで良かった…と思うと同時に、時代時代の市の姿を丁寧に保存してくれた先輩方に敬意を感じました。カメラが変わっても広報写真の「その時の市の姿を残す」という役割はずっと変わらず、これからも続いていくのだとしみじみ思いました/水野

厚木の冬を彩る光

まちを照らすイルミネーションが本厚木駅を彩っています。11月は、フォトスポットで撮影をすると買い物がお得になるキャンペーンを実施中。幻想的な光を楽しんでみませんか。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

《点灯期間》 **2月14日まで** 16時30分～24時

写真を撮ってみんなで厚木を盛り上げよう！

フォトスポットにスマートフォンのカメラをかざすと現れるあゆコロちゃんと写真を撮り、協力店舗で提示すると、10%引き相当の優待が受けられます。



《期間》 11月1～30日

《協力店》 約100店舗

詳しくは市HPへ



北口のフォトスポット

夜の本厚木駅北口

自然歳時記

● ミゾソバ ●
タデ科

水辺や田のあぜ道など、やや湿った所に群生する。名前は、溝に生え花や葉がソバに似ることによる。花は先端が薄紅色で枝先に集まって咲き清楚で美しい。相模川(戸田)の河川敷で見つけた。 写真・文 / 吉田文雄



ミゾソバは、別名をウシノヒタイこせいと言う。互生する大きな葉が牛の額のような形をしているからだ。子どもの頃、この葉をニワトリの餌にしたが、群生している上どんどん伸びるので不自由しなかった。 桃色の花は6ミリのほどで、枝先にまとまって付いている。5枚ほど

の白い花弁は、先端が薄紅色に染まりかえり美しい。時折小さなホソヒラタアブが訪れ、吸蜜していた。 広い河川敷を歩くと、トノサマバッタやツチイナゴが勢いよく飛び出し気持ちよさそうにヒラヒラと飛んでいた。何げない場所にも生物多様性を感じた。

厚木市の人口 (10月1日現在)  **世帯数** 10万1447世帯 (前月比9世帯減)  **人口** 22万3813人 (前月比138人減) 男11万5269人・女10万8544人